

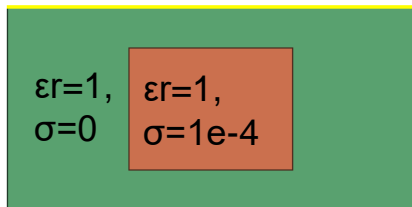
質問

誘電体と導体の両方が含まれるモデルの解析

回答

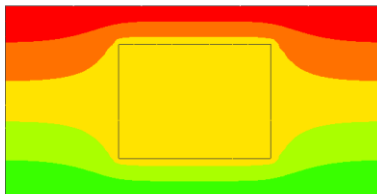
「誘電体」と「導体」の両方が含まれる場合は調和電場解析を行います。
「誘電体」と「導体」が含まれる場合の計算は「導電率」を複素数で表した形で計算されます。「複素導電率」は $\sigma + j\omega\varepsilon$ で表されます。
「複素導電率」は周波数が低いと「導体」に近い挙動を示し、周波数が高くなると、「誘電体」に近い挙動を示します。
調和電場解析の結果、電極間の容量と抵抗が同時に得られます。

1[V]

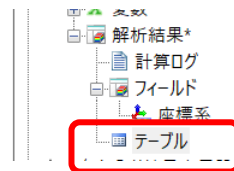
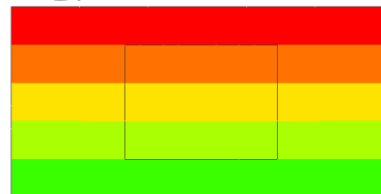


0[V]

電位コンター 10kHz



電位コンター 10MHz



テーブル

容量[F] | 抵抗[ohm] | アドミタンス[S] | 有限要素法情報

	周波数[Hz]	電極1	電極2	C1-2
0: 1.000e+04[Hz]	1e+4	V0	V1	3.166e-14
1: 1.000e+07[Hz]	1e+7	V0	V1	1.775e-14